

# もう 盲ろうについて知ろう



## もう 盲ろうとは…

しかく ちょうかく りょうほう しょう もう  
視覚と聴覚の両方に障がいがあることを「盲ろう」といいます。

## もう とくせい 盲ろうの特性は？

み かた き かた おお わ  
見え方と聞こえ方を大きく分けると4つのタイプに分かれます。

- ぜんもう まった み まった き じょうたい  
全盲ろう～全く見えず、全く聞こえない状態
- じゃくし すこ み まった き じょうたい  
弱視ろう～少し見えて、全く聞こえない状態
- ぜんもう なんちよう まった み すこ き じょうたい  
全盲難聴～全く見えず、少し聞こえる状態
- じゃくし なんちよう すこ み すこ き じょうたい  
弱視難聴～少し見えて、少し聞こえる状態

## こんなことに困っています…

### ● コミュニケーション

かぞく ゆうじん かいわ むずか  
家族や友人との会話も難しいです。

### ● 移動

ひとり がいしゆつ いどう むずか  
一人で外出したり、移動することがとても難しいです。

### ● 情報入手

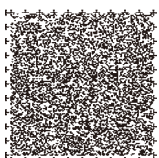
しんぶん じょうほう まわ じょうきよう し おと ひかり はい  
新聞、テレビ、パソコンからの情報、そして周りの状況を知るための音や光も入らない  
(または入りにくい)です。

### ● 街の中では

きんきゆう じ さいがい じ おんせい じょうほう き づ  
緊急時・災害時にアナウンスなどの音声情報には気づきません。

また、危険な状況も分かりません。白杖を持っていて、声をかけても反応がないときには、手のひらに字を書いて、安全な場所に誘導します。

- せいかつ かんきよう しかく しょう ちょうかくしょう ていど しょう はっしょう じ き  
生活環境や視覚障がいと聴覚障がいの程度、その障がいの発症時期により、コミュニケーションの方法が異なります。



《音声コード》

## 理解してほしいこと

人と会話する・情報を得るには、活用可能な感覚に応じた方法があります。

### ◆ 音声(全盲難聴・弱視難聴)

聴力の残っている盲ろうの方に話しかける場合は、向かい側からではなく、聞き取りやすい方の耳元で話します。

その方が聞きやすい大きさ、早さで一語一語はっきりと発音します。

### ◆ 弱視手話(弱視ろう・弱視難聴)

視力の残っている盲ろうの方が用います。盲ろうの方が読み取れるよう、視力や視野に適した位置や大きさを手話を表現します。

### ◆ 筆記(弱視ろう・弱視難聴)

紙に文字を書いて筆談します。文字の大きさや太さは、その方に確認します。パソコンを使用する時は、画面の背景色、文字の大きさ、色を見やすいように設定します。

### ◆ 点字(全盲ろう・全盲難聴)

その場で、点字器や点字タイプライターを使って書いた点字を、盲ろうの方が読み取ります。また、パソコンに接続した点字ディスプレイを利用する方もいます。

### ◆ 手書き文字(全盲ろう)

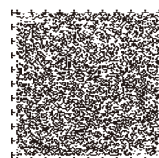
盲ろうの方の手のひらに指で直接文字を書きます。

### ◆ 触手話(全盲ろう)

相手の手話を触って読み取る方法です。また、相手が盲ろうの方の手を取って手話の形を作って伝える方法があります。

### ◆ 指点字(全盲ろう)

盲ろうの方の両手の指(人差し指、中指、薬指)6本を点字の6点に対応させ、通訳者が盲ろうの方の指に打って伝えます。



《音声コード》